

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

1、好調だった1昨年
に比べると数十分の1
しか遡上しなかったつ
ていう川がほとんどの
ようです。

太平洋側では平年並

ばく餌を食べていたか
は疑問。クラゲ博士の
Yさんもアユが食べる
のとエチゼンクラゲが
食べるのは別の動物フ
ランクトンと首をかし

クチイワシとヒラメ。
この欄でもご紹介しま
したが、昨夏から日本
海の沿岸ではカタクチ
が大豊漁。由良の海岸
沿いにもそこかしこに
カタクチの群れが湧い
ていました。餌の競合
が原因でアユの稚魚が

もう一つ気になるの
がヒラメ。ヒラメの稚
魚は7、8月になると
カタクチをねらって食
べるようになります。
このためカタクチの多
かった昨年はヒラメの
稚魚の生き残りも良く
て、今年はヒラメの1
才魚がうじゃうじゃい
ます。こいつらが冬の
間にアユの稚魚をムシ
ヤムシヤと食べてしま
ったっていうのもあり
そうです。

天然アユが減ったのは？

今年の由良川のアユ
は比較的好調だったよ
うですね。ただ、10年
ぶりの大濁水でアユが
縄張りを作らず、友釣
りは不調。アユはいっ
ぱいいるのに、川に立
ち込んでいる釣り人は
例年になく少なかった
です。お盆の前後から
解禁になった網漁に期
待というところでしょ
うか。

私の怪しいとらん
でいるのは、カタクチ
イワシ(丹後ではタレ
方)の可能性は大。

私が怪しいとらん
でいるのは、カタクチ
イワシ(丹後ではタレ
方)の可能性は大。

この仮説を検証する
のは簡単。アユとカタ
クチとヒラメを捕まえ
てきて何を食べている
かを調べればいいので
す。問題は、真冬の明
け方に船に乗って、こ
いつらを捕まえに行か
ないといけないこと。
寒がりです。サボり虫の私
は真っ平なので、元氣
な学生を募集中。

みの上敷だったのに、
日本海側だけなぜ減っ
たというので浮上した
のが、エチゼンクラゲ
犯人説。昨秋、日本海
に大発生したエチゼン
クラゲが動物プランク
トンを食べてしまい、
海に下ったアユ稚魚の
餌(えさ)が無くなっ
たというわけです。
確かに、昨年のエチ
ゼンクラゲ大発生はす
ごく、沿岸の定置網
や底引き網は何十トも
のクラゲの処分泣か
されました。でも、ほ
とんどが死にかけの個
体なのでそんなにばく

とここで日本海沿岸
各地で今年の話題にな
ったのは、海から川に
上ってくる天然アユ遡
上(そじょう)数の落
ち込み。平年の10分の

とここで日本海沿岸
各地で今年の話題にな
ったのは、海から川に
上ってくる天然アユ遡
上(そじょう)数の落
ち込み。平年の10分の

とここで日本海沿岸
各地で今年の話題にな
ったのは、海から川に
上ってくる天然アユ遡
上(そじょう)数の落
ち込み。平年の10分の

とここで日本海沿岸
各地で今年の話題にな
ったのは、海から川に
上ってくる天然アユ遡
上(そじょう)数の落
ち込み。平年の10分の



魚市場に山積みのカタクチイワシ

この仮説を検証する
のは簡単。アユとカタ
クチとヒラメを捕まえ
てきて何を食べている
かを調べればいいので
す。問題は、真冬の明
け方に船に乗って、こ
いつらを捕まえに行か
ないといけないこと。
寒がりです。サボり虫の私
は真っ平なので、元氣
な学生を募集中。